

【AEDの使用手順】

○心肺蘇生法を継続している際に、AEDが届いたら直ぐにAEDを使う準備を始めます。

1 AEDの電源を入れる。

- ・ AED本体のふたを開け、電源ボタンを押します。(ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。)
- ・ 電源を入れたら、それ以降は音声メッセージと点滅するランプの指示に従って操作します。

2 電極パッドを貼る。

- ・ 倒れている人の衣服を取り除いて、胸をはだけます。
- ・ 電極パッドの袋を開封し、電極パッドをシールからはがし、粘着面をイラストのとおり直接素肌に貼り付けます。
- ・ 機種によっては、電極パッドのケーブルを接続するために、ケーブルのコネクタをAEDの差込口(点滅している)に差し込むものがあります。

3 心電図の解析

- ・ 電極パッドを貼り付けると「体に触れないでください。」などと音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。このとき、AEDの操作者は「離れてください。」と注意を促し、誰もその人に触れていないことを確認します。
- ・ AEDは、電気ショックの必要があると解析した場合には「ショックが必要です」、不要と解析した場合は「ショックは不要です。」などの音声メッセージを流します。
- ・ 「ショックは不要です。」といった音声メッセージの場合は、直ちに胸骨圧迫を再開します。

4 電気ショック

- ・ AEDが、ショックが必要と解析した場合は「ショックが必要です。」といった音声メッセージとともに自動的にエネルギーの充電を始めます。
- ・ 充電が完了すると「ショックボタンを押してください。」といった音声メッセージとともにショックボタンが点灯して、充電完了の連続音が出ます。
- ・ AEDの操作者は「離れてください。」と注意を促し、誰もその人に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。

5 心肺蘇生の再開

- ・ 電気ショックを行ったら、直ちに胸骨圧迫を再開します。

6 AEDの使用と心肺蘇生の継続

- ・ 心肺蘇生を再開して2分程経ったら、再び、AEDが自動的に心電図の解析を行います。音声メッセージに従って、倒れた人から手を離し、周りの人も同様に離れます。
- ・ 以後は、心肺蘇生とAEDの使用手順を、約2分間おきに救急隊員と交代するまで繰り返します。